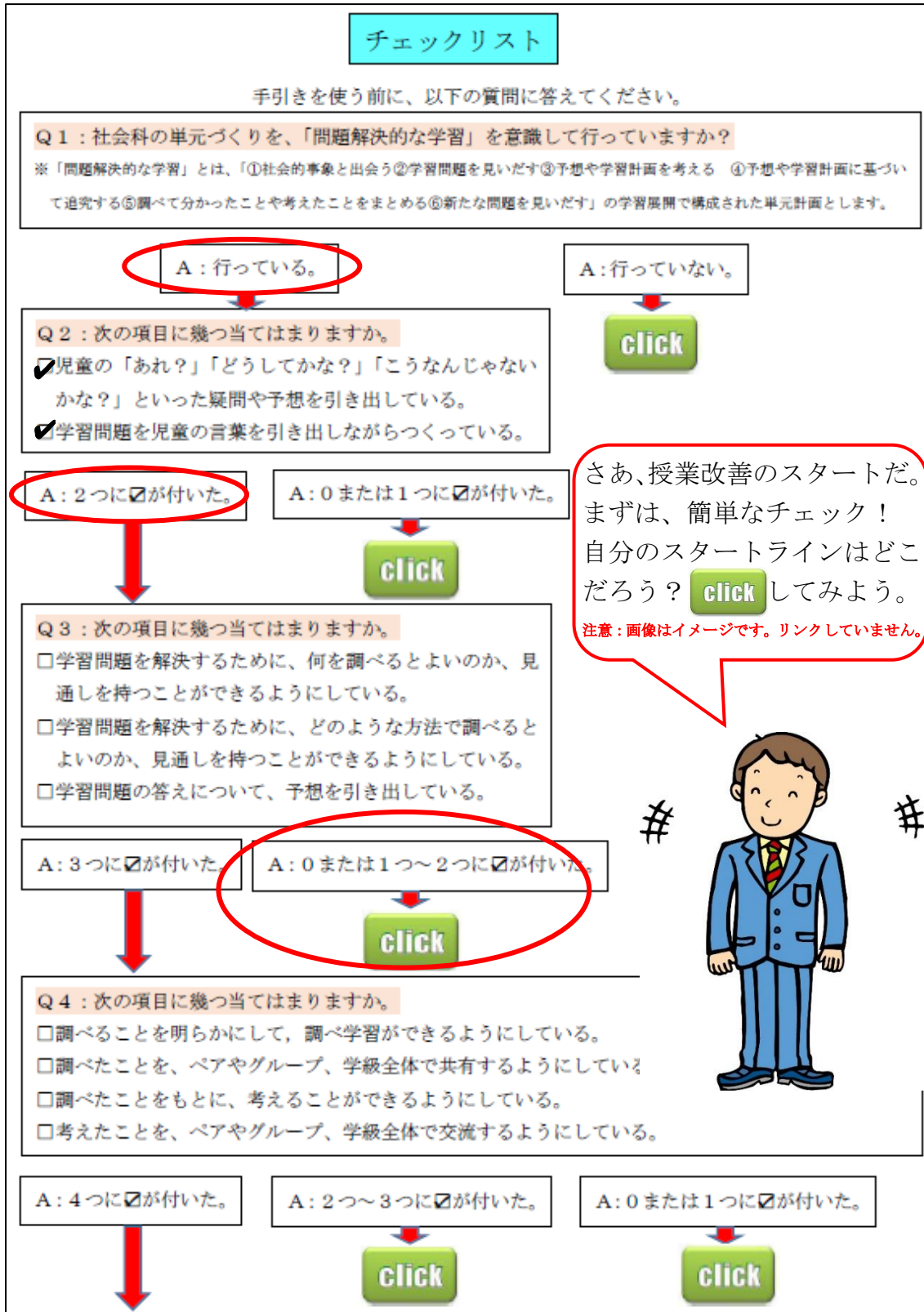


2 (3) 授業の質的改善のプロセス

ア A校 (第3学年) の実践

(7) 手引きを活用した質的改善の実際

2 (2) 授業の見直しと質的改善を図るための手立てに沿って、実際に授業の質的改善を図ったA校第3学年の実践を紹介します。資料1 (授業の質的改善のプロセス①-1~①-3) は、A校の質的改善の実際 (一部) を示しています。



さあ、授業改善のスタートだ。まずは、簡単なチェック！自分のスタートラインはどこだろう？ **click** してみよう。

注意：画像はイメージです。リンクしていません。



指示された「手引き」のページ



手順 1 【児童の実態を資質・能力の面から捉える。】

子供たちは、できていますか。□内の項目にチェック回してみましよう。☑が付かない場合は、⇒が示す手立てについて自分の指導を振り返ってみましよう。

過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想		
知識			(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。☑ ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧へ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて(つなげて)、記述することができる。☑ ⇒C④⑥へ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して(まとめて)、記述することができる。☑ ⇒C④、D①へ			
技能 (収集する読み取るまとめる)			(1) 学習問題や本時のめあてを解決するために必要な資料を集めることができる。☑ ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨へ (2) その資料がどのような資料かが分かっていて、☑ ⇒C④⑤⑥⑦へ (3) 事実を正確に読み取っている。☑ ⇒C④⑤⑥⑦へ (4) 学習問題や本時のめあてを解決するために有用な情報を選んで読み取っている。☑ ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨へ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。☑ ⇒C④⑤⑥⑦へ			
思考力、 判断力、 表現力等	(1) 資料を基に気付きを持つことができる。☑ ⇒A①②へ (2) 資料を基に疑問を持つことができる。☑ ⇒A①②⑥へ (3) 気付きや疑問を調べる観点ごとにグループ分けをすることができる。☑ ⇒A④⑤へ (4) 気付きや疑問から、キーワード(問い)をつくることことができる。☑ ⇒A④⑤⑥へ (5) キーワード(問い)を関連付けて、大きな問いをつくることことができる。☑ ⇒A⑦⑧⑨へ	(1) 学習問題に対して、予想を考えることができる。☑ ⇒A⑤⑥へ (2) 疑問に対して、予想を考えることができる。☑ ⇒A⑤⑥へ (3) 自分が調べたいことを考えることができる。☑ ⇒B①へ (4) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。☑ ⇒B②③④へ	(1) 学習問題や本時のめあて(課題)の解決のために、調べた事実を基に、自分の考えを持つことができる。☑ ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧へ (2) 本時で分かったことから、新たに調べたいことを考えることができる。☑ ⇒C①②③④⑤へ (3) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいか考えることができる。☑ ⇒C①②へ	(1) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。☑ ⇒D①②③へ (2) 解決に必要な情報を判断し、それらを基に自分の考えを表現することができる。☑ ⇒C①②、D①②③へ (3) 1)自分の考えを明確にして、意見を述べたり、記述したりすることができる。☑ ⇒D①②③④⑤へ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。☑ ⇒D③④⑤へ (1) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えることができる。☑ ⇒C⑥、D③④⑤⑥へ (2) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。☑ ⇒C⑥、D④⑤⑥へ (3) 様々な立場ごとのメリット・デメリットを総合的に考えて、社会的現象の意味について考えることができる。☑ ⇒C⑥、D①④⑤⑥へ (4) 実現可能性を踏まえた上で、課題の解決策を考えることができる。☑ ⇒D④⑤⑥へ	(1) これまでに学習したことを基に、自分の考えを持つことができる。☑ ⇒E①②③④へ (2) 友達や考えを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。☑ ⇒D④⑤⑥⑦へ (3) 話し合いで出た意見を総合して、意見を述べたり、記述したりすることができる。☑ ⇒E①②③④へ	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。☑ ⇒E①へ (2) 新たな課題を考えることができる。☑ ⇒F①へ (3) 学習した内容を、自分達の生活と関連付けて、考えることができる。☑ ⇒F②③④へ
主体的に学習する態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しを持っている。☑ ⇒B①②、C①②③へ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているか理解している。☑ ⇒C①②③④へ		(1) 社会的現象について、実感や切実感を持って調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。☑ ⇒A①②③⑦⑧⑨、F①②③④へ (2) 社会的現象について自分達の生活と照らし合わせて考えることができる。☑ ⇒A①、F②③④へ (3) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。☑ ⇒F②③④へ			

授業の質的改善を図るための手引き (手順 1)

手順 2 【児童の実態を「主体的・対話的で深い学び」の3つの視点から捉える。】

子供たちの様子はどうか。□内の項目にチェック回してみましよう。☑が付かない場合は、⇒が示す手立てについて自分の指導を振り返ってみましよう。

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想		
「主体的・対話的で深い学び」の視点から捉えた児童の姿	○社会的現象に興味や関心を持っている。☑ ⇒A①②⑤⑥⑦⑧⑨、F①②③④					
	○目的意識を持って追究活動を行っている。☑ ⇒A⑦⑧⑨、B①②③④、C①②③④⑤⑥、D④へ					
	○自らの学習を振り返り、次の学習につなげている。☑ ⇒C①⑤、D⑥、D⑩、E④、F①へ					
	○一人で調べたり考えたりしたことを、他者と交流したり、議論したりすることで、新たな考えに気付いている。☑ ⇒A⑥、C⑧⑨、D④⑤⑥、F②へ					
	○一人で調べたり考えたりしたことを、他者と交流したり、議論したりすることで、自分の考えを広げている。☑ ⇒A⑥、C⑧⑨、D④⑤⑥、F②へ					
	○一人で調べたり考えたりしたことを、他者と交流したり、議論したりすることで、自分の考えをより妥当性のあるものになっている。☑ ⇒C①、D③、D⑥、F③へ					
	○社会的現象についての見方・考え方をを用いて、社会的現象の中から自ら問いを見いだしている。☑ ⇒A⑤⑥、B①、C①①へ					
	○社会的現象についての見方・考え方をを用いて、調べたことを関連付け(つなげ)たり、総合し(まとめ)たりして社会的現象に対する理解を深めている。☑ ⇒C④⑤⑥、D①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪、E①②③④へ					
	○社会的現象についての見方・考え方をを用いて、様々な社会的現象の意味や特色について考えている。☑ ⇒D⑤⑥⑦⑧⑨へ					



今日の授業で何を調べるとよいか、分かっていない子が多いな。目的意識をもって調べ学習をしているとは言えないな。自分の授業を振り返ってみよう。B①②、C①②③へGO!



手順3 【日々の教師の授業を振り返る。】

手順4 【授業で取り入れる手立て、または意識することを考える。】

先生は、手順1・手順2で示した手立てを取り入れたり、意識して行っていますか。チェック回してみましょ。回が付かない場合は、授業に取り入れてみましょう。

手	課題追究		課題解決	新たな課題
	考察・構想	まとめ	振り返り	
て調べ	●社会的現象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する。 ・多面的・多角的に考察する。 ・話し合う(討論等)	●考察したことや構想したことをまとめる。 ・学習課題を振り返って、結論をまとめる。 ・結論について他の児童生徒と話し合う。 ・学習問題についてレポートなどにまとめる。	●学習を振り返って考察する。 ・自分の調べ方や学び方、結果を振り返る。 ・学習成果を学校外の他者に伝える。 ・新たな問い(課題)を見いだしたり追究したりする。	
を通し	●社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する。 ・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断する。	○身に付けた知識の活用を促す学	○単元全体を振り返り、学習問	○学習問題について考えさせた
て調べ				
する。				
と本時				
つながら				

<p>A①身近なことを調べよう。</p> <p>A②資料提示の仕方について、その効果や課題を話し合う。</p> <p>A③題材に対して気付きや疑問をもち、それを板書する。</p> <p>A④気付きや疑問を教師が積極的に仲間(キーワード)分けして板書する。</p> <p>A⑤気付きや疑問に対して、自分の考えや疑問を返しながら、別々の意見を出させる。</p> <p>A⑥自分の考えや疑問(予想など)で、自分の意見が同じか違うかを対話させる。</p> <p>A⑦気付きや疑問を解決したいことを考え、手立てとして書かせる。</p> <p>A⑧調べていきながら、手立てとして書かせる。</p> <p>A⑨個別に持つ手立てで交流し、手立てを決定する。</p>	<p>B①学習問題の解決のために何を調べるとよいかを考えさせる。</p> <p>B②調べるとよいと考えたことをグループビンゴし、何から調べたらよいか考えさせる。</p> <p>B③学習問題の解決のために調べるとよい方法を考えさせる。</p> <p>B④調べるとよい方法をグループビンゴし、何から調べたらよいか考えさせる。</p> <p>B⑤調べるとよい方法をグループビンゴし、何から調べたらよいか考えさせる。</p> <p>B⑥調べるとよい方法をグループビンゴし、何から調べたらよいか考えさせる。</p> <p>B⑦調べるとよい方法をグループビンゴし、何から調べたらよいか考えさせる。</p> <p>B⑧調べるとよい方法をグループビンゴし、何から調べたらよいか考えさせる。</p> <p>B⑨調べるとよい方法をグループビンゴし、何から調べたらよいか考えさせる。</p> <p>B⑩調べるとよい方法をグループビンゴし、何から調べたらよいか考えさせる。</p> <p>B⑪調べるとよい方法をグループビンゴし、何から調べたらよいか考えさせる。</p>	<p>C①学習問題を確認する。 ・知りたいことを図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。 ・学習問題と学習計画を教室内に掲示し、常に振り返らせる。</p> <p>C②学習問題の解決のために調べるとよい方法を整理する。</p> <p>C③調べるとよい方法について、予想を立てさせる。</p> <p>C④調べるとよい方法を整理する。</p> <p>C⑤限定した資料で調べさせる。</p> <p>C⑥調べるとよい方法を整理する。</p> <p>C⑦調べるとよい方法を整理する。</p> <p>C⑧調べるとよい方法を整理する。</p> <p>C⑨調べるとよい方法を整理する。</p> <p>C⑩調べるとよい方法を整理する。</p> <p>C⑪調べるとよい方法を整理する。</p>	<p>D①調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>D②調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>D③調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>D④話し合いの目的・ゴールを示す。</p> <p>D⑤話し合いの目的・ゴールを示す。</p> <p>D⑥自分の考えや疑問をまとめる。</p> <p>D⑦話し合いの目的・ゴールを示す。</p> <p>D⑧調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>D⑨調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>D⑩調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>D⑪調べた事実や意見をまとめる。</p>	<p>E①調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>E②調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>E③調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>E④調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>E⑤調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>E⑥調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>E⑦調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>E⑧調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>E⑨調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>E⑩調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>E⑪調べた事実や意見をまとめる。</p>	<p>F①調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>F②調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>F③調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>F④調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>F⑤調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>F⑥調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>F⑦調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>F⑧調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>F⑨調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>F⑩調べた事実や意見をまとめる。</p> <p>F⑪調べた事実や意見をまとめる。</p>
--	--	--	--	---	---

毎時間、学習問題の解決のために、何を調べてよいのか問い掛けることはやっていないなあ。まずはそこから始めよう。

毎時間、学習問題の内容を確認することはやっているぞ。

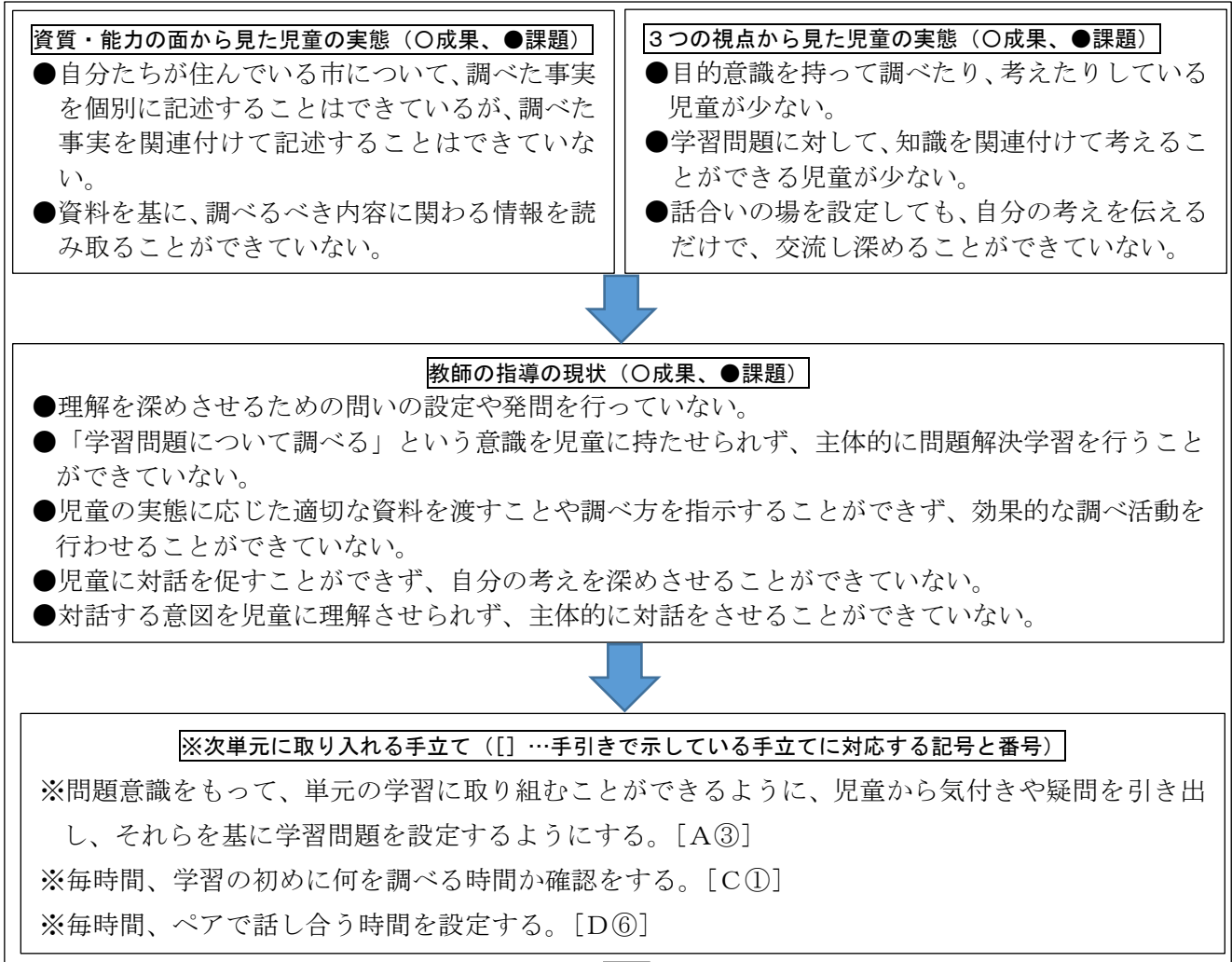


資料1 A校の質的改善の実際(一部)

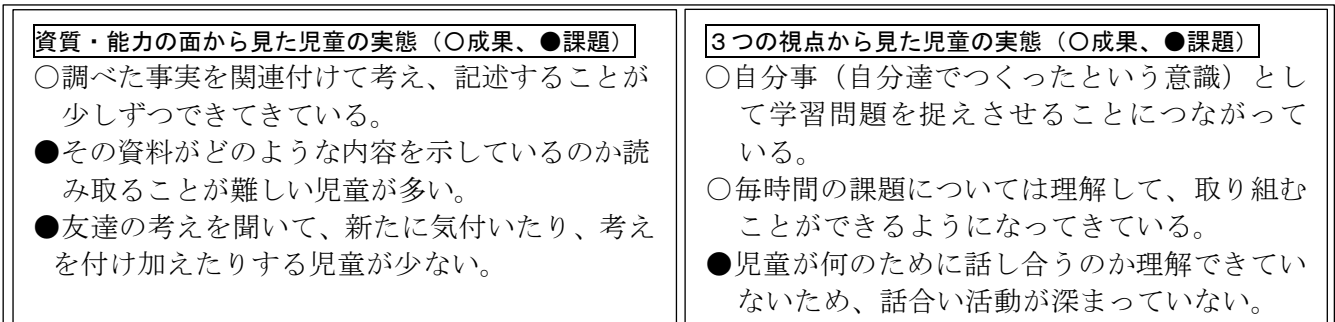
(4) 質的改善の推移

前頁資料 1 で示すように、A校第 3 学年においては、手引きに沿った考え方に沿って、児童の実態を「育成すべき資質・能力」の視点（手順 1）と「主体的・対話的で深い学び」の視点（手順 2）から捉え、教師の指導の現状を振り返りました（手順 3）。その後、指導をどのように改善していくのかを考えました（手順 4）。A校第 3 学年では、7 月から 12 月まで単元ごとに同様の手順を踏みながら、授業の質的改善を図っていきました。以下の①～⑧は、質的改善の推移を「授業の見直しと質的改善を図るための手立て-1」図 1 に合わせ整理したものです。

① 6 月実践 単元「私たちの佐賀市（前半）」



② 7 月実践 単元「私たちの佐賀市（後半）」





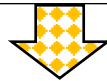
教師の指導の現状（○成果、●課題）

- 衛生から見た佐賀市の様子を基に気付きや疑問を出させ、それらを基に学習問題を設定するようにしたが、自分たちの問題として捉えさせることができたのか疑問である。
- 毎時間、ペアで話し合う時間を設定したが、話し合う目的を伝えていない。
- 教科書や副読本の資料を一度に全て見せていることで、児童がどの資料を見ればいいのか難しさを感じているのではないかと。
- 児童の反応に対し、問い返しが曖昧で、どのようなことを考えさせるための問いなのか、児童に理解させることができなかった。



※次単元に取り入れる手立て（[] …手引きで示している手立てに対応する記号と番号）

- ※学習問題を設定するとき、児童が持った気付きに対し、問い返しをしながら、「調べてみたい」と思わせるようにする。 [A⑤]
- ※調べる活動において、読み取る技能を高めるための手立てとして、資料の内容を1つずつ確認したり、資料の枚数を制限して提示する。 [C④、C⑤]
- ※児童の反応に対し、問い返しを行い、事実相互を関連付け理解を深めさせるようにする。 [C⑩]



③ 7月～9月実践 単元「私たちの佐賀市（後半）～店で働く人（前半）」

資質・能力の面から見た児童の実態（○成果、●課題）

- 教科書の文章から、必要な情報を読み取ることができている。
- 教科書の限定したページの範囲内から、必要な資料を探ることができている。
- 学習問題についてまとめさせると、1単位時間ごとのめあてについて記述したものが多く、これまで獲得した知識を相互に関連付けて記述したものはほぼなかった。

3つの視点から見た児童の実態（○成果、●課題）

- 学習問題を意欲的につくろうとする姿を見ることができた。
- 課題追究の過程において、学習問題を意識できていない児童がいる。
- 話合いの目的を理解できておらず、必然性を実感させきれていない。そのため、主体的な話合い活動につながっていない。



教師の指導の現状（○成果、●課題）

- 資料を限定することで、技能の高まりはうかがえるが、教師主導になっているように思える。
- 学習問題を教室に掲示し、学習中も意識できるようにしているが、効果が見られないため、他にも意識できるような手立てを取る必要がある。
- 学習問題と本時の課題（めあて）との関わりを意識させられていない。そのため、単元を通して学習問題を解決するという意識が薄かったのではないかと。



※次単元に取り入れる手立て（[] …手引きで示している手立てに対応する記号と番号）

- ※毎時間、授業最後の振り返りの場面で、学習問題についてじっくりと考えさせ記述する時間を取る。 [C⑩]
- ※キーワードを導き出し、学習のまとめを行わせる。 [D⑧]
- ※資料を選択したり、資料から読み取ったりする技能がまだまだ十分ではないので、資料を限定する手立ては継続するようにする。 [C④][C⑤]
- ※本時の学習と学習問題とのつながりを毎時間確認したり、つながりが分かる図を示したりする。 [C①]



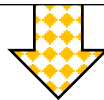
④ 9月実践 単元「店で働く人（前半）」

<p>資質・能力の面から見た児童の実態（○成果、●課題）</p> <p>○単元を通して、学習したことを活用して学習問題について考えることができる児童が徐々に増えてきている。</p> <p>●学習問題や本時のまとめの記述を「たくさん」「いろいろな」でまとめているが、概念的な理解に至っているのか（社会的事象の意味理解ができているのか）検証が必要である。</p>	<p>3つの視点から見た児童の実態（○成果、●課題）</p> <p>○学習問題を解決するために、本時の学習を行っているという意識が少しずつ出てきている。</p> <p>●少しずつ主体的に話し合い活動を行うことができているが、まだ十分ではない。</p>
--	--

<p style="text-align: center;">教師の指導の現状（○成果、●課題）</p> <p>●毎時間、授業最後の振り返りの場面で、学習問題について記述する時間を取ったが、どのように記述すればよいのか、具体的なイメージを伝える必要があると思う。</p> <p>●キーワードを導き出させて、学習のまとめを行わせているが、そのキーワードの意味を理解して記述できているのか、判断が難しい。キーワードを見いだす過程において、意味を考えさせる手立てが不十分かもしれない。</p>
--



<p style="text-align: center;">※次単元に取り入れる手立て（〔〕…手引きで示している手立てに対応する記号と番号）</p> <p>※学習問題の設定時に、調べる計画（順番、内容）を立てさせる。〔B①、B②〕</p> <p>※事実を調べて終わりではなく、事実を基に考えさせる発問を段階的に行う。〔D①〕</p> <p>※毎時間、学習問題について考えを記述させたり、振り返りの時間を設定したりする。学習問題についての記述が時間的に難しいときは、「今日の学習で分かったことから、学習問題は解決しそうですか?」「解決できないならば、何を調べる必要がありますか?」など、意識するような問い掛けを必ず行うようにする。〔C⑩〕</p> <p>※ペアやグループでの対話を取り入れるが、必然性のある対話になるように、他の意見を参考にするよさを伝えるなど意識する。〔D④〕</p> <p>※学習問題や本時の課題について考えを記述させる際に、キーワードを見いださせ、活用させる。〔D⑧〕</p>
--

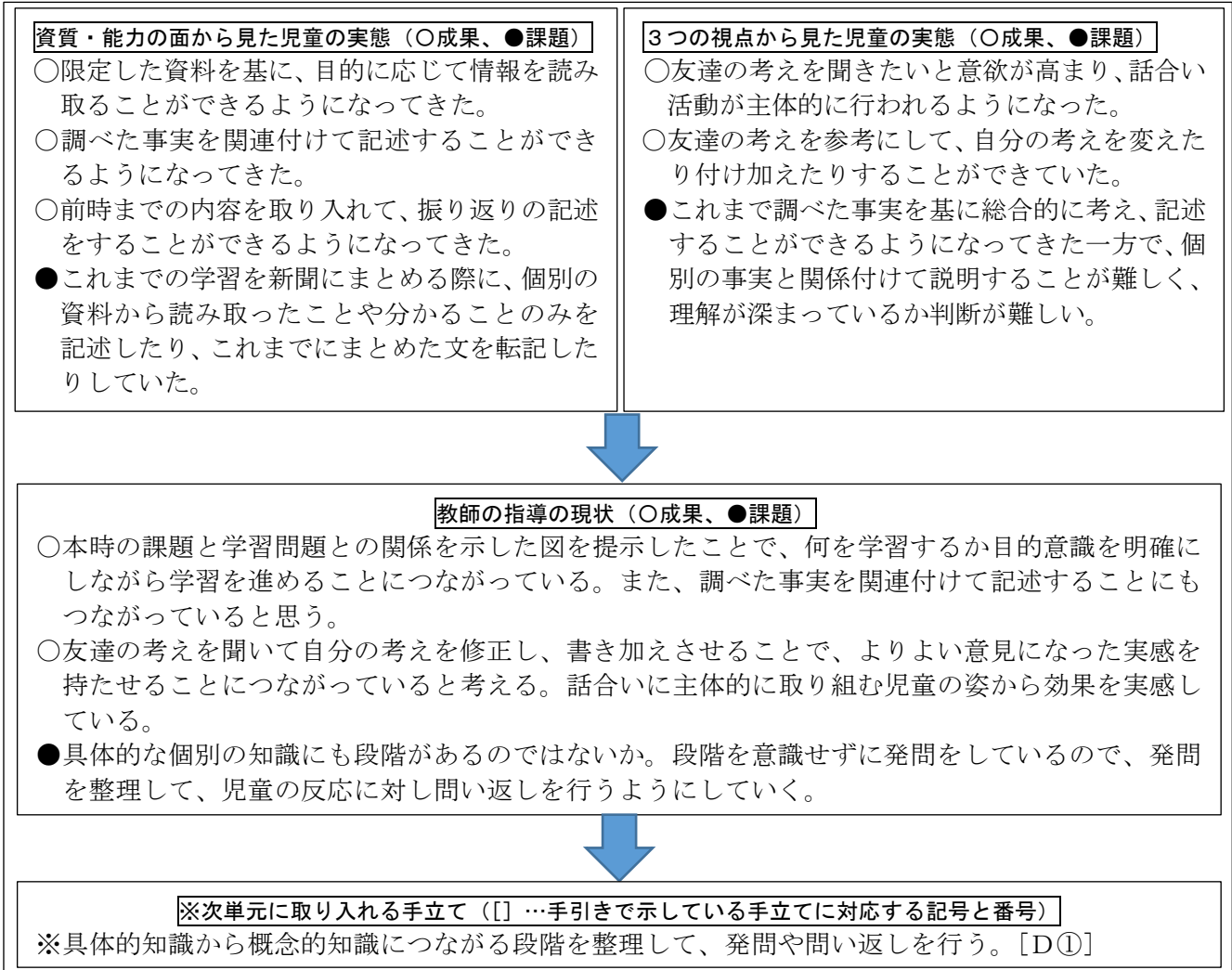


⑤ 9月～10月実践 単元「店で働く人」

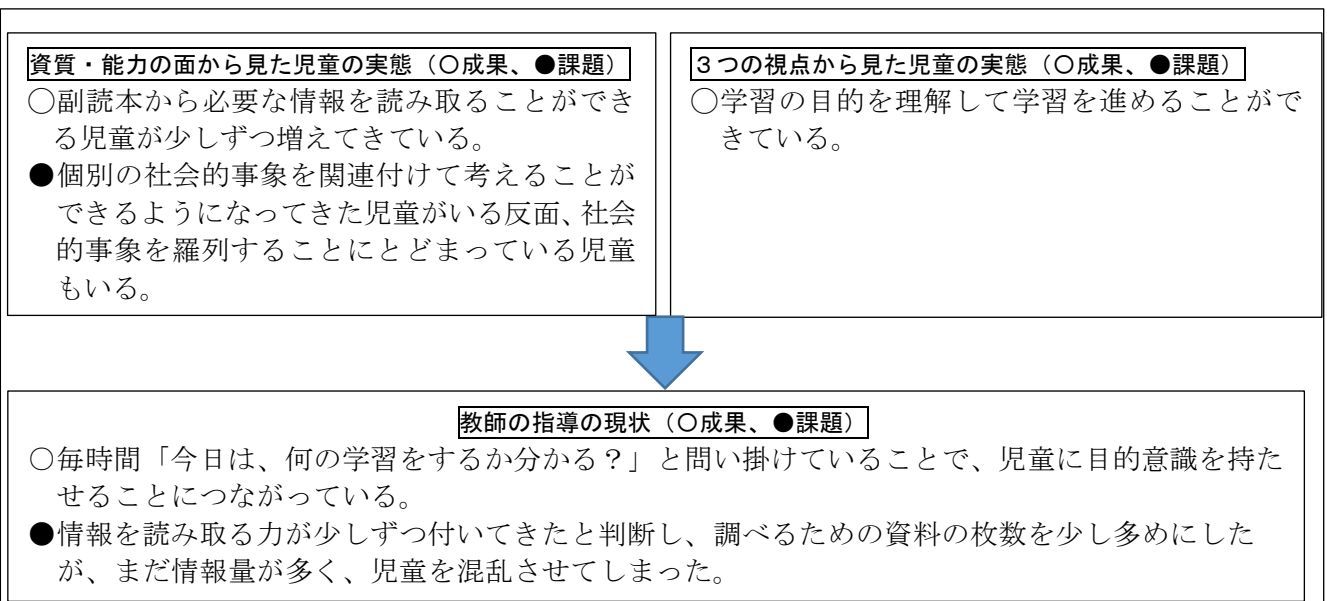
授業の質的改善を図った単元の実際はこちらから⇒
click
授業の実際はこちらから⇒
click



⑥10月実践 単元「店で働く人（後半）」



⑦11月実践 単元「農家の人々（前半）」





※次単元に取り入れる手立て（[]…手引きで示している手立てに対応する記号と番号）

- ※実態に応じて、調べるための資料の枚数をもう少し制限することが必要である。[C④、C⑤]
- ※具体的知識から概念的知識につながる段階を更に整理して、発問や問い返しを行う。[D①]



⑧12月実践 単元「農家の仕事（後半）」

資質・能力の面から見た児童の実態（○成果、●課題）

- 調べてきたことを生かし、農家の仕事を紹介するキャッチコピーを考えることができたようになった。
- 調べたことの一つ一つが農家の工夫や努力であることとつながっていない。具体的な事実相互の関連性を児童が理解できていない。

3つの視点から見た児童の実態（○成果、●課題）

- 本時はどのような学習をするのか意識することができており、主体的な学びに向かうようになってきた。
- 自分で考えたキャッチコピーを相互に交流し合い、似ている箇所や違う箇所に気付き、自分のキャッチコピーに取り入れようとしていた。



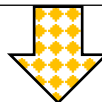
教師の指導の現状（○成果、●課題）

- 調べてきたことを「工夫していること」「努力」「ほか」に図を使って分け、それぞれがつながっていることを視覚で確認できるようにした。
- 農家の工夫や努力が、それぞれ「何のためのものか」と個別に問うていくと、調べたことの一つ一つの関連に気付き、「工夫や努力」との関連も認識させることができたのではないかな。
- キャッチコピーを考える際、具体例を示したので、見通しを持たせることにつながった。



※次単元に取り入れる手立て（[]…手引きで示している手立てに対応する記号と番号）

- ※調べてきた事実を、具体的知識から概念的知識へとつながるように整理し、整理した図を掲示する。[C①、C②]
- ※調べてきた事実を整理し、個別に意味を問う発問を行う。[D①]



⑨1月実践 単元「むかしの道具とくらし」

資質・能力の面から見た児童の実態（○成果、●課題）

- 調べたことから考えを導き出すことができたようになってきた。
- 絵や図からその違いを見付けたり、関係性を考えたり、必要な情報を見いだしたりすることができるようになった。
- 絵や図の違いがなぜ違うのか、なぜその関係にしたのか説明することができない（例：洗濯に関わる道具3種類の並べ替えはできるが、なぜそのように並べたのかは説明できない）。

3つの視点から見た児童の実態（○成果、●課題）

- 本時の学習で何をするのか意識しながら、主体的に学習に取り組むことができてきた。
- 自分の意見を少しずつ友達に伝えることができるようになってきている。
- 調べ学習では、友達と相談しながら学習を進める姿が見られるようになった。
- 友達の意見との相違点に気付くことができた。
- 友達の意見との相違点から、疑問に思ったり理由を尋ねたりすることができない。

